

算数A

主として「知識」に関する問題

さいたま市

全国

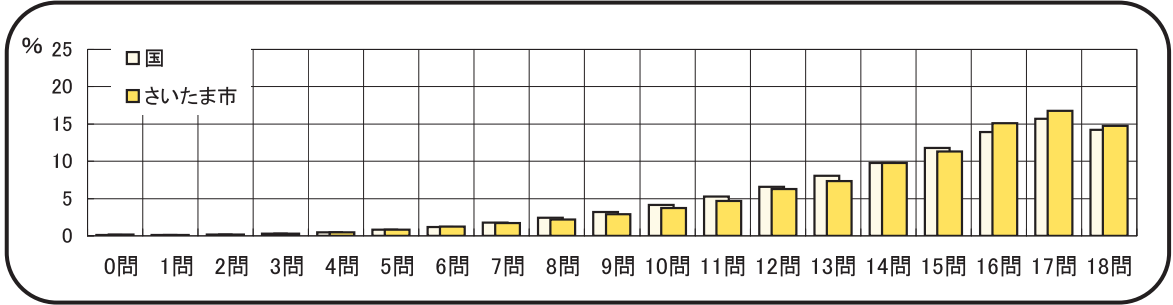
平均正答率(%)

79.5

78.7

1

さいたま市の正答数分布(正答数ごとの児童の割合)

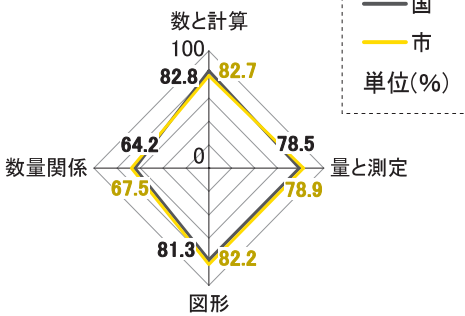


2

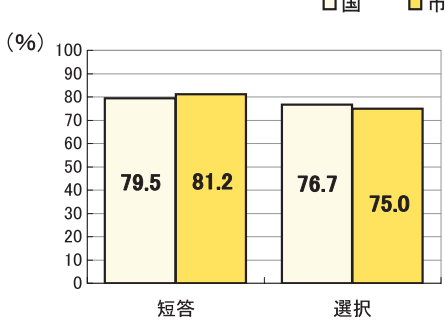
さいたま市の問題ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	数と計算	量と測定	図形	数量関係	問題形式	正答率(%)	
							国	市
1	(1) 繰り上がりのある整数の加法「3位数+2位数」の計算をすること (153+49)	★				短答	95.1	95.5
	(2) 整数の乗法「3位数×1位数」の計算をすること (725×8)	★				短答	85.6	87.0
	(3) 整数の除法「3位数÷1位数」の計算をすること (204÷4)	★				短答	95.4	95.9
	(4) 小数の除法「小数÷小数」の計算をすること (48.1÷1.3)	★				短答	80.4	80.3
	(5) 同分母分数の減法計算をすること (7/6-2/6)	★				短答	97.8	97.9
	(6) 減法と除法の混合した整数の計算をすること (80-30÷5)				★	短答	66.8	72.7
2	(1) 数直線上に示された1万より大きい数を書くこと	★				短答	64.1	66.9
	(2) 数の構成について理解すること(100を45個集めた数を書く)	★				短答	73.3	79.0
	(3) 74291を四捨五入して千の位までの概数に表すこと	★				選択	75.8	73.6
	(4) 偶数の意味について理解すること(0, 1, 35, 78, 100の中から偶数を選択)	★				選択	77.4	68.3
3	千円札を長方形とみると、長いほうの辺はどれくらいの長さになるか選ぶこと		★			選択	89.8	90.8
4	分度器の目盛りの読み取りをすること(90°より大きい角)		★			短答	78.8	79.1
5	(1) 四角形を2つの三角形に分けたときの、四つの角の大きさの和を求める式を表現すること			★		短答	67.9	72.5
	(2) 長方形を1本の対角線で分けたときの図形(直角三角形)をとらえること			★		選択	83.4	81.6
	(3) 平行四辺形の2つの辺の長さが10cm、8cmのとき、指示された辺の長さを求めること			★		短答	92.6	92.5
6	方眼を基に底辺と高さを読み取り、三角形の面積を求めること		★			短答	66.9	67.0
7	200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か求めること				★	選択	56.9	60.7
8	資料を二つの観点から分類整理し、表を用いて二次元表に表すこと				★	短答	68.8	69.1

領域別レーダーチャート



問題形式別正答率



3

さいたま市の結果概要及び指導のポイント

【結果概要】

- 簡単な四則計算など基本的な計算については、よくできている。
- ◇数直線の一目盛りの大きさを考え、それを基に数を読み取ることに課題が見られる。
- ◇百分率や偶数に関する理解に課題が見られる。

【指導のポイント】

- 一目盛りの大きさが10、100、1000などの数直線から数を読んだり、それらの数を数直線上に位置付けたりする活動を充実させる。
- 偶数の指導では、数直線等を用いて、整数が偶数、奇数に類別できることを確認する活動を取り入れるとともに、用語を活用してそのよさが分かるようにする。

算数B

主として「活用」に関する問題

さいたま市

全国

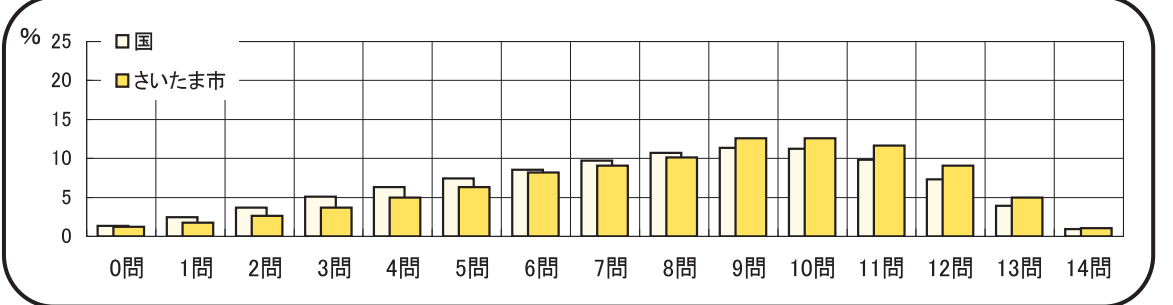
平均正答率(%)

58.5

54.8

1

さいたま市の正答数分布(正答数ごとの児童の割合)

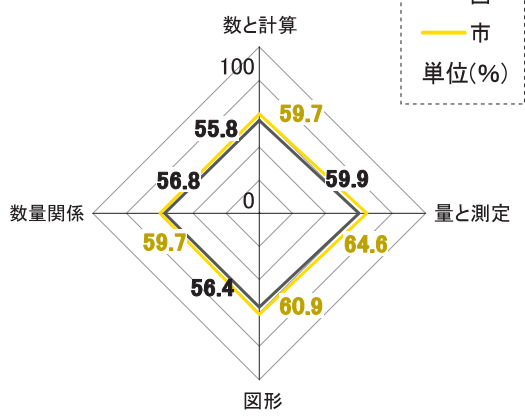


2

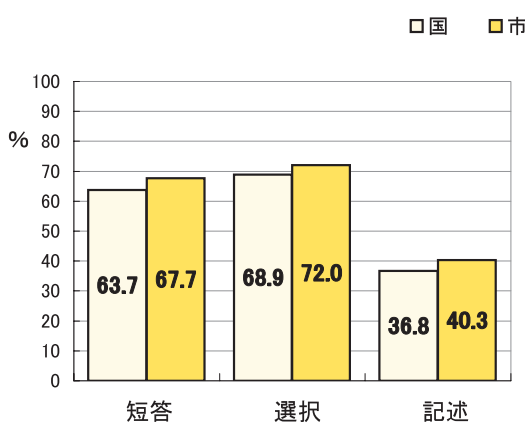
さいたま市の問題ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	数と計算	量と測定	図形	数量関係	問題形式	正答率(%)	
							国	市
1	(1) 必要な情報を選択し、求め方を式で表現(階段から図形を見出す)すること	★		★		短答	51.1	58.4
	(2) 示された部分の長さを調べられる理由を平行四辺形の性質を基に考えること			★		選択	65.1	69.4
	(3) 示された解決方法に基づき、別の解決方法で数と言葉と式を用いて記述すること			★		記述	30.4	32.2
2	(1) 示された実験を基に、整数や小数の加法計算を用いて、重さを求めること	★	★			短答	90.2	91.8
	(2) 3つの実験から筋道を立てて考え、重さの範囲を言葉を用いて記述すること		★			記述	45.7	50.8
3	(1) 与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択すること		★			短答	39.8	44.8
	(2) 棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で見積もること	★			★	短答	54.8	57.9
	(3) 与えられた情報を整理・選択し、筋道を立てて考え、判断の正しさを記述すること	★				記述	33.9	33.3
4	(1) カードの敷き詰め方を二通りかき、必要なカード枚数を求めること		★	★		短答	79.1	83.5
	(2) 示された板に、カードを敷き詰めることができないと判断する方法を記述すること	★	★			記述	56.1	62.8
	(3) 様々な大きさの板に、カードを敷き詰めることができない場合の例をつくること	★	★			短答	48.8	53.8
5	(1) 4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取ること				★	短答	82.0	84.0
	(2) グラフの特徴を基に、集めた空き瓶の重さの変化の様子をとらえること				★	選択	72.8	74.6
	(3) 4月と6月のペットボトルの重さの割合の大小を判断し、その理由を記述すること				★	記述	17.7	22.2

領域別レーダーチャート



問題形式別正答率



3

さいたま市の結果概要及び指導のポイント

【結果概要】

- 整数と小数の加法を用いて重さを求めることやグラフから必要な数量を読み取ることはよくできている。
- ◇基準量と比較量を基に割合の大小を判断し、その理由を記述すること。また、情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しいことを式と言葉で記述することに課題が見られる。

【指導のポイント】

- 割合を式で求めるだけでなく、数直線や、円グラフに表す活動を取り入れ、理解の定着を図る。
- 判断の正しさを説明するために式と言葉、図などを関連付けて説明する活動を充実させる。

★ 調査結果の詳細は、Web サイト「さいたま市の学校教育」(<http://gakkoukyouiku.saitama-city.ed.jp/>)に掲載しています。